

## 令和5年司法試験合格体験記

令和5年度在学中受験(未修コース) 増原 七海

18 期末修の増原七海と申します。

私は岡山大学法学部在籍中に9か月間の留学をした後、岡山大学大学院法務研究科未修コースに入学し、在学中受験をしてこの度司法試験に合格することができました。

私が司法試験に合格することができたのは、私に関わり、支えてくださった周囲の方々のおかげに他なりません。授業の内外にかかわらずいつでも丁寧かつ熱心に指導をくださった先生方、学習環境を整え、応援してくださった資料室や事務の方々、ゼミを実施して下さったり勉強の相談に乗って下さったりした先輩方、1年生の頃から励ましあいながら頑張ってきた同期や積極的に議論してくれる後輩達、精神面も生活面も傍で支援してくれた家族など、今思い返してみてもたくさんの方々に支えて頂き、ここまでくることができました。本当にありがとうございました。

在学中受験という制度が開始したことにより、これから受験される皆さんは在学中受験をするのか悩まれると思いますし、在学中受験をされる方は受験までの期間が短く焦る気持ちもあるかと思います。私は在学中受験をすることを決めたものの、授業を受けながらゼミや司法試験の過去問題を解き進めることは時間的・体力的に厳しく、思い通りに進まない勉強スケジュールに出願をやめておけばよかったと思うこともありました。そんな中私は、生活リズムを変えずに過ごすことと、受験までの各科目のやっておくことを明確化・段階化することは意識して勉強していました。焦る気持ちは当然ありましたが、自分や周囲の人がわからないことは他の受験生もわからないはずだと割り切っあまり新しいことには手を付けず、問題への答え方や理解を固めることに注力しました。

司法試験までの道のりはマラソンのようなものです。在学中受験をされるかそうでないかで走り方や走るスピードが変わっても、すること自体は変わらないと思います。

これから受験に臨まれる皆さんが各々の走り方で納得のいく結果を残されることを祈っています。